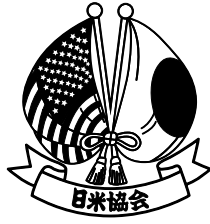


Tokyo, JAPAN

デジタル版



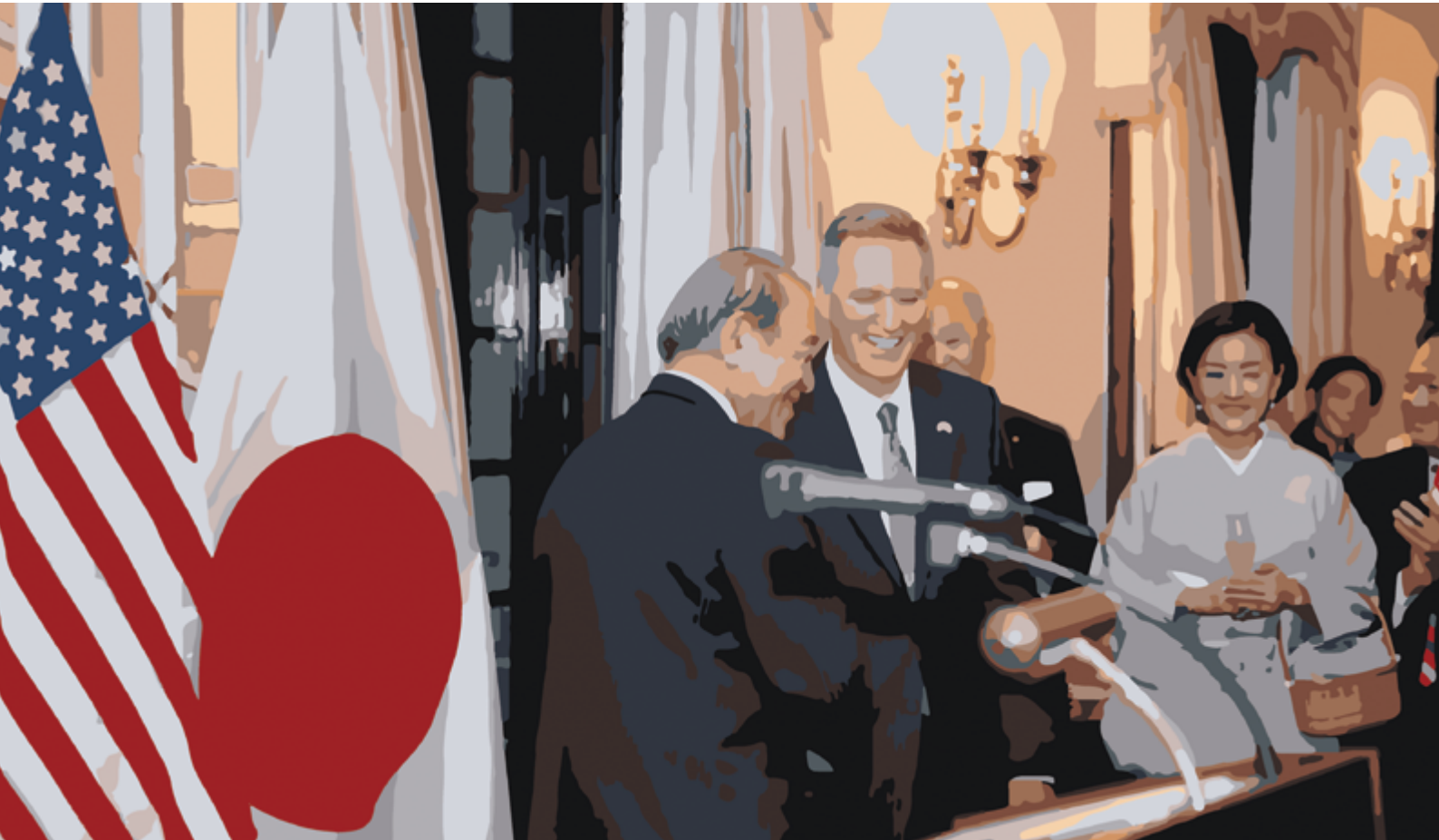
一般社団法人
日米協会

日本語
Japanese

Special Issue for AJSS Members
2019-2020

AJSS

eNewsletter



The America-Japan Society, Inc.



離れていても繋がりやすいこの時代、
試されているのは"繋がり合う力"。

会員のみなさま

コロナ禍の中、お元気でお過ごしいただいていることを祈ります。協会の定例の活動も自粛せざるを得ない日々が続いてまいりました。大変な時期ではありますが、大きな試練はむしろ経済が大打撃を受けたこれからでもあります。法人、個人の会員のみなさま方のご支援で成り立っている当協会としては、みなさま方に引き続きのご支援をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

けっして十分ではありませんが、オンライン会議の開催とともにこのニュースレターを発行し、これらを通じてみなさま方とつながらせていただきたいと思います。

アメリカもいま困難に逢着していますが、持ち前の底力できっと切り抜けるでしょう。この秋には大統領選挙もあります。目が離せません。

また元気なみなさま方にお目にかかれる日を楽しみにしつつ。

日米協会会長

藤崎 一郎

CONTENTS

特集

対談「コロナ・米中・大統領選挙」 03-06
久保文明東京大学教授×藤崎一郎会長

報告

2019年度 日米協会の活動 07-08
月例プログラム報告 09
恒例・特別プログラム報告 10
100周年記念事業活動報告 11-12

連絡

事務局からのお知らせ 13
編集後記

コロナ・米中・大統領選挙

東京大学大学院法学政治学研究科

久保 文明 教授

2008年～2012年元駐米大使



藤崎 一郎 会長

- 主催：一般社団法人 日米協会
- 対談開催日：2020年5月29日(金)
- 対談方法：Zoom オンライン会議システムによる遠隔対談
- 司会：日米協会事務局 茂木 麻希
- 対談記録執筆：インターン生 慶應義塾大学3年 岡田 悠也

このページは会員限定コンテンツのため閲覧できません。

This page is accessible only to AJS members.



久保 文明 (くぼ ふみあき)
東京大学大学院法学政治学研究科教授。専門は、アメリカ政治。当協会理事。

本が過剰に自信を振りかざすことは心配だ
なと思います。米国も今回のことで簡単に
へこむような国ではないからです。

茂木：米国は国内問題で手一杯で、中国に
比べて世界でリーダーシップをとれていな
いという懸念の声があります。このことが
今後の世界秩序にどのような影響を及ぼす

中国は力をつけていたと思いま
す。しかし敵失というのでしょうか、もど
もど中国からウイルスが発生したのに、支
持物資の中に通

切でないものがありました。よって、少な
くともヨーロッパでは反中感情が高まって
しまいました。実際にイギリスではジョン

ソン首相が2030年までにファーウェイの
5Gの通信を35%くらい入れようとしてい
ましたが、その話も見直そうという話が出
ています。ジョセフ・ナイが言っているよ

うに、中国はノープロバガンダがベスト
プロバガンダだということをよく理解しない
人々を相手にしている。これは、中国の

オウゴンボール 陰ではないかと思
います。

久保：今回の事で、米国が模範として全く
機能していないことは、米国に対する威信
や尊敬を失わせている一つの理由だと思
います。それから、初動が遅れたがゆえ

に、経済的な代償も大きくなるでしょう
から、1929年から始まった大恐慌以来最も
深刻な経済低迷になると思います。失業率
20%くらいには到達するかもしれないとい
うことで、これは凄まじい経済の落ち込み
と言えます。財政赤字も深刻で、米国だけ
でなくヨーロッパなど世界の先進国も経済
的な余裕がなくなっています。例えば日本
からすると米国が第二次大戦後、トルーマ

ントアトリンとかマーシャルプランだと
を実施したわけですが、今回これらに代
るものを米国がすることは期待できない
と思います。余裕のある国もないというこ
です。経済的な悪影響というのが世界
規模で広範囲に現れてくると言えます。そ
すると、国民の政府に対する不満が募
るとなりますので、米国が世界の各地で
勢力を維持することにすら反発が出てく
るかもしれません。

茂木：トランプ大統領の発言により米中
立が激化していることに対する見解を
聞かせてください。

久保：米中関係が今後、対立対立関係
になるのではないかと懸念しています。中
国国家安全法という法律を北京の中華人民
共和国政府が一方向的に成立させましたけれ
も、これは、これまで新米中関係

決定的に悪化させるターニングポイント
なものであると思います。米中は、サイバー
や5Gなどを含む幅広い分野で激しく競
争するようになってきました。こうした中、

トランプ大統領は原則のない態度を取っ
て非常に揺れている訳ですが、トランプ
大統領以下の米国政府関係者、米国政府全
体の中国に対する態度が厳しくなってい
るというのがこれまでと質的に違うところ
です。民主党の議員でさえ中国に厳しい態

度を示しているということが、今の米中関
係がこれまでとは異なることを表してい
ると思います。米国ではしばしば「全政
府巻き返し」(a-whole-of-the-government
pushback)と表現されます。

藤崎：1989年の天安門事件の前後から、
鄧小平は船光賞時(中国は力をつけるま
目立たないで敵をつくらないようにしよ
うという考え)の方針を示していましたが
習近平はこれを後継する姿勢を全く見せ
ません。それどころか、大国主義の姿勢を
打ち出しています。私は、これほどでも
なかったと思います。なぜなら、もし今
中国の人たちが鄧小平の遺訓を受け継いで
いたならば、我々が気付いたときには強大
な国になっていた可能性があります。しか
し、習近平がそのような政策を取らなかつ
たこと、みんなが中国の力に気付くよう

になっています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

を批判しています。また、トランプ大統領は
場当たり的ではあるが、対中政策でかなり
強硬的な態度も取るようになってしま
った。現在は選挙の年ということで、み
んな強いことを言いますが、本当に言っ
たことをやるとは限りません。加えて、
国は、政権が変わると内政よりも外交
に注力する傾向があります。例えばクリントン政権のや
ったKEDOという北朝鮮への原子力支援
プロジェクトはとりやめました。オバマ
政権のやったイラク戦争は間違っ
たこと、トランプはオバマのやったこと

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

藤崎：貿易問題等よりも中国が絶対に譲ら
ない問題というのは、香港、台湾、チベット
、ウイグル等の問題であろうと思います。こ
れは、一つのところで、自由を認めてしま
うと他のところでも、不満が出てきて、中
国の一党独裁の体制が維持できなくなる
からです。よって、この問題は、中国にとっ
ても重大な問題であるといえます。日本
は、欧米諸国と同じような発信はできない
と思います。AN 諸国や韓国のように

次のページへ続く



藤崎 一郎 (ふじさき いちろう)
一般社団法人日米協会会長。元駐米
大使 (2008年～2012年)。

茂木：秋の米国大統領選挙に世界の注目が集まっています。トランプ大統領がコロナへの対応で苦戦したのでバイデン候補が有利だという声や、トランプ大統領の方が露出が多く有利だという双方の声がありますが、秋の大統領選のこれから見どころ、両候補についてのご意見を教えてください。

藤崎：2008年に私が米国で駐米大使に着任した時に、マケインとオバマの大統領選の真っ只中でした。いろんなジャーナリストの方から日本は、どちらの候補がいいのか聞かれました。その時に私は「その日まで何も言いません。箱を開けたらば、ちょうどこれが欲しかったと言う。クリスマスプレゼントのようなものです。」と言いました。ジョークですが一面真実です。誰になったとしても、選ばれた人とうまくやらなければなりません。どちらがなるかは今後の経済がどうなっていくか、どちらの候補が失敗をするかということにかかっていると思います。そのうえで

このページは会員限定コンテンツのため閲覧できません。

This page is accessible only to AJS members.

久保：今の時点で、色々な世論調査では、バイデン候補が優位かと言わざるを得ないかと思っています。確かに、連日トランプ大統領の露出が多くて有利という声もあります。しかし、トランプ大統領は露出すると必ず失言をしてしまうようですので、バイデン候補からしてみるとトランプ大統領が露出してくれた方が有利になるとの見方もできます。現在、米国は10万人を超える犠牲者が出てしまっています。しかし、トランプ大統領が、これだけ犠牲者を出しながら、40%台半ばの支持率を維持していることが何を意味するのかわかる必要があると思います。もう一つ、トランプ大統領としては、経済活動を再開するためのリファレンダム（国民投票）として大統領選挙を使いたいのではないのでしょうか。経済活動の邪魔をしている勢力との戦いと位置

づけていくのだと思います。また、一刻も早く経済活動を再開したい経営者や小さな政府を信奉するリバタリアン、教会での礼拝への制約を嫌う宗教保守の人々の動きが以前にあった茶会党（ティーパーティー）の動きと類似しています。運動の盛り上がり次第では、トランプ大統領が再選する可能性は十分にあるでしょう。

茂木：安倍・トランプ関係で日米関係は回ってきたと言われますが、仮にバイデン政権ができた場合に日米関係にどのように影響するのでしょうか。

久保：バイデン氏は、日米同盟の重要性や価値をよく理解しているので、トランプ大統領とは違った安心感があることは確かです。これは、民主党政権によくあるのですが、バイデン氏はトランプ大統領ほどには、中国に厳しい事をしつづけるかもしません。それを受けて、中国としては、バイ

藤崎：バイデン氏が出てくると、今よりも政権の動向が予測可能になると思います。また米国政府全体としてのチームプレイが戻ってくるのではないかと思います。同盟国とのチームプレイも重視するでしょう。もう少し損得勘定をするようになるのではないかと思います。その結果、パリ協定には戻り、イランとの核合意も追求するかもしれません。中国、北朝鮮との関係もまたリセットしようという動きがあるかと思っています。バイデン政権が成立した場合の安定感は歓迎すべきですが、中国との関係については、チームでの準備、すり合わせを行っていく必要があるかと思っています。

久保：多人数の米国社会において、対立があることはよく知られていることですが、今回のことも突然起きたわけではないと思います。選挙におきましても、アフリカ系アメリカ人は大体が民主党に入れて、白人は過半数が共和党に入れて、ヒスパニック系は7割以上が民主党に入れるなど、人種によって投票傾向がかなりはっきりと分かれています。そういう意味で、バイデン候補が副大統領候補を誰にするのか



会員からの質問

質問A：大統領選挙の結果がいずれの政権になったとしても、日本として、米中関係についてこれまでと変わらない姿勢や主張があるとすればそれはどのようなことでしょうか。

久保：トランプ政権が継続する場合には、対中政策を変えるときには事前に日本と協議を十分にやってほしいということを訴えていくべきでないかと思っています。バイデン政権ができた場合には、日本の同盟国の見方をよく消化してほしいということだと思います。例えば、2014年春頃のケリー国務長官のアジア歴訪での演説で「この地域にとって最大の脅威は気候変動だ」との発言に違和感があったという声がありました。このように、民主党政権は観念的に動

久保：トランプ政権が継続する場合には、対中政策を変えるときには事前に日本と協議を十分にやってほしいということを訴えていくべきでないかと思っています。バイデン政権ができた場合には、日本の同盟国の見方をよく消化してほしいということだと思います。例えば、2014年春頃のケリー国務長官のアジア歴訪での演説で「この地域にとって最大の脅威は気候変動だ」との発言に違和感があったという声がありました。このように、民主党政権は観念的に動

質問B：人種差別の問題が大統領選にもたらす影響は何でしょうか。

久保：多人数の米国社会において、対立があることはよく知られていることですが、今回のことも突然起きたわけではないと思います。選挙におきましても、アフリカ系アメリカ人は大体が民主党に入れて、白人は過半数が共和党に入れて、ヒスパニック系は7割以上が民主党に入れるなど、人種によって投票傾向がかなりはっきりと分かれています。そういう意味で、バイデン候補が副大統領候補を誰にするのか

が注目されています。例えば、アフリカ系の上院議員カマラ・ハリスさんやヒスパニック系のゴルデズ・マストさんという方がいます。

藤崎：昔、米国での人種差別はかなり顕著にあったわけですが、様々な努力があって、平等だという信念をみんなに植え付けようとしてきました。しかし、マイノリティに対する優遇をやりすぎだという声が出てきています。一つは、オバマ政権のときのLGBT政策です。これには、LGBTではない人々から反発があります。二つ目は、移民の流入です。不法移民やドリーマーズについて、反発があります。トランプ氏はこういう反発を利用してきました。多くの米国人は、聞かれば、もちろん人種差別反対と答えますが、実際は心の底には人種差別のようなものがあるかもしません。心の底というものは見えなくて、トランプにかつて投票したという共和党員も心の底では、反トランプと

質問C：大統領選挙において、今の状況で、無党派層の人々をスイング州としてどう見ているのでしょうか。

久保：無党派の人たちでも感染症拡大の阻止を経済活動に優先して行うべきという人たちは、トランプ政権を支持しないと思います。反対に、経済活動を優先する人々は、共和党を支持すると思います。また、米国ではマスクをつけるかつかないかが政治的なメッセージを持つようになっていて、トランプ大統領は、意地になってめったにマスクをつけません。一方バイデン氏はこれ見よがしに大きなマスクをつけています。このようなことが政治的スタンスの象徴になっています。経済活動優先か、感染拡大措置かで支持が分かれるのは確かなので、無党派層がどちらに動くかを今後の感染状況を追っていくことがポイントになるかもしません。

藤崎：米国には3,100カウンティがあって、クリントン大統領の時は、1,500ほどとれたものが、オバマ氏もゴア氏も、500程度しか取れないようになってきたという背景があります。つまり地方はほとんど共和党に票がいくようになっていきます。それでもオバマ氏が勝ったのは都市部の人口が増え

ているからです。そこで、都市部と地方の中間である郊外の票の行方が選挙結果を決める重要な要素となると思います。

質問D：米国社会の分断は今後も続いていくのでしょうか。

久保：トランプ大統領は過激な差別的発言によって、支持を伸ばしたことは否定できません。一つは、アイデンティティのところで、WASP対それ以外の対立というのは根深く、移民等の問題と相俟って続いているのではないかと思います。二つ目は、政策の取捨ということがないわけではないということです。特に経済政策の面では、一致している面があります。例えば、保護主義では共和党と民主党は同じ路線を行っていますし、財政支出の拡大に関しては、共和党の小さな政府の信奉者であるはずの人々が賛成しているという状況もあります。インフラ投資でも基本姿勢は似ていま

このページは会員限定コンテンツのため閲覧できません。

This page is accessible only to AJS members.

久保：既に米国は香港について法律を制定して、一国二制度を前提条件に貿易等で優遇措置を行っています。今回のことで、対抗措置を取るとすれば、そのような優遇を一部または全部停止することが考えられます。もし、このような対抗措置に出た場合、米国企業にも影響は出ますが、米国は、ある程度の措置は講じるのではないかと思います。

久保：今のトランプ政権は、中国からしてみたら、これまでになく真正面から中国に挑戦してくる政権なのかも知れません。しかし、トランプ大統領は何かの世界観に基づいて中国に厳しいわけではなく、トランプ大統領は対中関係についての関心が貿易赤字に限定されている感が否めません。トランプ大統領に対中政策に中心軸がなくフラフラしたような印象があります。もしかしたら、トランプ大統領は自分でも対中政策の軸を考えていないのかも知れません。

民主党政権になった場合でも、バイデン政権が誕生した際に、政権に入るだろうとされているカート・キャンベル氏が中国に厳しい見解を持っていることからして、中国に厳しい政策が展開されていくのかもしれない。それに対してサンダース氏は国防費の大幅減額を要求しています。バイデン氏がこちらの意見ばかり聞くと、懸念が高まります。

藤崎：トランプ大統領の場合、安倍首相との個人的関係で外交が進んできたという面があります。もし、民主党政権になった場合には、計算高く、損得勘定がはっきりするのだと思います。民主党政権になった場合には、中国とは対話で物事を進めていくようになると思います。日本としては、東シナ海の問題や軍備増強について、しっかりと訴えていく必要があるだろうと思います。オバマ政権でもカート・キャンベル氏によって、当初より中国にき

質問E：トランプ政権が共和党的な対中政策を打ち出した後、トランプ大統領が

久保：既に米国は香港について法律を制定して、一国二制度を前提条件に貿易等で優遇措置を行っています。今回のことで、対抗措置を取るとすれば、そのような優遇を一部または全部停止することが考えられます。もし、このような対抗措置に出た場合、米国企業にも影響は出ますが、米国は、ある程度の措置は講じるのではないかと思います。

藤崎：米国が今回毅然と対応してもらわないと困るのは、やっぱりそうは発言できませんが中国の一般国民なのではないかと思っています。香港については、一国二制度の50年間の折り返し地点に来ています。ここが潮時と香港の人は中国の支配から脱しようとして頑張るでしょうが、中国は絶対譲らないと思います。欧州は経済的に中国と敵対することは出来ませんが、中国の伸長を望んでいるわけではありません。米国がどのように介入するかというのが注目点ですが、世界の中で、米国に中国に物申す役割を望んでいる国は多いと思います。

(END)



日米協会の活動

2019年度

会員向け通常プログラム

100周年記念事業

2019

2020

- Brownbag Lunch Meeting May 13
- ゴルフ大会岸カップ *悪天候のため中止 May 21
- 記事 p.10 横田基地と石川酒造見学 May 22
- 記事 p.9 月例会 順天堂大学名誉教授 樋野興夫氏 Jun 17
- リエゾン会議(日米関連団体との会議) Jun 24
- 写真 1 Y 宇宙航空研究開発機構(JAXA)見学 Jun 28
- 記事 p.10 写真 4 第84回総会 Jul 5
- Y インターン OG 石井さんを囲んで Aug 6
- Y 若者向けのユースプログラムやインターン生企画のプログラムがあります。
- 記事 p.9 月例会 デザイナー コシノジュンコ氏 Sep 25
- 記事 p.10 写真 7 アメリカ研究者の集い Oct 4
- 写真 7 飲む・ニケーション Oct 25
- 記事 p.10 写真 8 米国大使公邸パーティー Nov 7
- ゴルフ大会 福田杯 Nov 15
- 記事 p.9 月例会 ティム・グリフィン氏 Dec 2
- 「Brexit 体験記」日米協会専務理事 岡本和夫氏 Dec 12
- 記事 p.10 写真 10 クリスマス パーティー Dec 17
- Y 講演会 日米協会副会長 久野明子氏 *延期 Jan 15
- 「英国駐在での気付き」日米協会専務理事 岡本和夫氏 Jan 21
- 記事 p.9 写真 11 月例会 外務省 山上信吾氏 Jan 23
- 写真 12 米国大使公邸昼食会 Jan 28
- 写真 13 Y 溜池会インターン OBOG の交流会 Jan 31
- 記事 p.9 月例会 歴史作家 井沢元彦氏 Feb 20
- Y 日米交流ボーリング大会 *延期 Mar 5
- 写真 14 Y 外交官と話そう! 外務省 川津晃平氏 Mar 10
- 記事 p.3 月例会 東京大学教授 久保文明氏 *延期 Mar 25

- May 7 NGRT 早稲田大学教授 中林美恵子氏
- Jun 12 NGRT ホワイト&ケース アーサー・ミッチェル氏
- Jul 1 NGRT 独立記念日パーティー 写真 2
- Jul 4 VSJ 報告会① 写真 3
- Jul 20 第2回アメリカボウル大会 記事 p.12 写真 5
- Jul 23 VSJ 報告会②
- Aug 8 VSJ 報告会③
- Aug 28 第2回アメリカボウル大会渡航者報告会 記事 p.12
- Aug 29 VSJ 報告会④
- Sep 4 NGRT Astroscale クリス・ブラッカビー氏
- Sep 26 VSJ 報告会⑤
- Oct 15 NGRT 産経新聞 古森義久氏 写真 6
- Nov 6 NGRT DNX Ventures 山本康正氏
- Nov 22 第3回金子堅太郎賞授賞式 記事 p.11 写真 9
- Jan 8 NGRT 外務省北米局参事官 有馬裕氏
- Feb 12 NGRT 楽天株式会社執行役員 北川拓也氏
- Mar 23 NGRT 米国先端政策研究所上級研究員 グレン・フクシマ氏 写真 15
- Apr 28 NGRT オンラインミーティング 記事 p.11



対談・講演会



各界の著名人や専門家の方をお招きして対談や講演会を開催しています。
ホワイト&ケース法律事務所のご厚意により会議室をご提供いただいております。
また、当協会大井理事のご厚意により同時通訳をご紹介いただいております。



Jun 17

順天堂大学名誉教授
樋野 興夫氏
「寄り添う・がん哲学外来
21世紀への懸け橋」

ユーモアを交えてがん哲学について分かりやすく解説され「がんはその人の個性である。」など印象的な言葉でがんと向き合い方を学びました。



Sep 25

デザイナー
コシノ ジュンコ氏
「アメリカとわたし」

トップデザイナーとして数多くの美しいデザインを世に送り出しているコシノジュンコ氏。学生時代の思い出から、日本文化を世界に発信するための挑戦まで幅広くお話しいただきました。



米アーカンソー州副知事 **ティム・グリフィン氏**
「米国政治と大統領選～新たな挑戦、その可能性と影響 共和党の視座から」

Dec 2

大統領選や日米関係を中心に、共和党の視点からお話しいただきました。大統領選に関しては、株価の上昇・失業率の低下により経済が非常に好調であることがトランプ大統領にとって追い風になるのではないかと分析がありました。

外務省経済局局長
山上 信吾氏
「経済外交、日米貿易協定、G20、RCEP 交渉・WTO 改革を中心にして」

Jan 23

日米関係などに関わるホットなトピックを取り上げ、交渉の背景やエピソードも交えながら解説されました。会場から質問も相次ぎ、一つ一つ丁寧にお答えいただきました。



Feb 20

歴史作家 **井沢 元彦氏**
「逆説の日米外交史」

日米関係や中国の歴史を儒教と朱子学の観点から紐解いていく内容でした。今一度歴史を学び直したいと思わせる興味深い講話でした。

恒例・特別プログラム報告

日米協会では、幅広い年齢層の方にお楽しみいただけるイベントを開催しております。

2019年度もたくさんのご参加ありがとうございました。

*一部のイベントでは、若者向けのユースプログラムなど参加者の年齢制限を設けてご案内しております。

*新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今後のプログラム実施内容や方法が変わる場合がございます。



Jul 5

第84回日米協会総会

国際文化会館にて開催。約90名が出席し、全ての議題は全会一致にて承認されました。13年の長きに渡り協会を支えてくださった渡辺専務理事が退任されました。現在は理事として協会の活動にご協力いただいております。後任として岡本専務理事が着任されました。

横田基地と石川酒造見学

May 22

米軍基地と多満自慢で有名な石川酒造の見学会には32名が集まりました。オスプレイは駐機していませんでしたが、バスの車窓から基地内を見渡すのは壮観でした。



米国研究者の集い

Oct 4

アメリカ大使館からの支援により、日本の大学院生にアメリカ研究費を助成するプログラムです。2019年は17名の合格者(内過去合格者3名)が研究成果を発表しました。



Nov 7

米国大使公邸パーティー

ジョセフ・M・ヤング臨時代理大使のご厚意により米国大使公邸にて日米交流パーティーを開催しました。日米協会でも人気の高い本イベントは、240名の参加者が集い、盛会となりました。

AJS クリスマスパティー

Dec 17



クイズとヴァイオリン・ピアノの生演奏で盛り上がりしました。音楽に合わせてプレゼント交換する企画は大人も童心に戻り、プレゼントを開ける瞬間はワクワクしました。

外交官と話そう!

Mar 10

外務省北米局の若手外交官をお招きし、ディスカッションをする企画をインターン生が開催しました。学生に近い目線で進路相談や外交に関わる疑問にお答えいただきました。





日米協会 百周年記念事業

100周年記念事業は、100周年を迎えた2017年に基金を設立し、皆様からの寄附によって成り立っている4つのプログラムです。



第3回金子堅太郎賞は、35年間に渡り多くの日本人のホームステイを受け入れたリンズバーグ氏、カントリーミュージックを通じ日米間の民間交流に貢献された永谷氏、特別賞として茶道を通じ、文化交流に多大なる貢献をされた裏千家第15代家元の千玄室大宗匠に贈られました。

1 金子堅太郎賞 The Kaneko Award

初代会長である金子堅太郎の名を冠した、草の根レベルで長年にわたり日米関係に貢献した人に贈られる賞。副賞として受賞者には日米の往復航空券及び滞在費を授与。【協賛】ANA



Ms. Helen Rindsberg
(グレイターシンシナティ
日米協会推薦)



チャーリー永谷氏
(熊本日米協会推薦)



千玄室大宗匠
(京都日米協会推薦)

2 次世代ラウンドテーブル in Tokyo Next Generation's Roundtable in Tokyo (NGRT)

40歳未満の米国人と日本人の若者が、六本木ヒルズクラブに集まり英語で議論する会合。年間10回の会合があり、様々なテーマで専門家や著名人を講師として迎える。【協賛】森ビル株式会社

通称“NGRT”は毎回時宜を得たテーマを取りあげ、熱い議論が繰り広げられております。第3タームを2019年10月より始めました。今期も様々な業種・業界で働く日本人とアメリカ人の社会人が集まり、メンバーは約70名ほど在籍しています。会終了後に不定期で開催される“Nomi-kai”も交流を深める絶好の場となっています。



4月にはNGRTが初めてオンラインで開催されました。オンラインの活用によって繋がりを保ち議論を続けることの大切さを見出した会合となりました。



3 米国大学院生 日本招聘プログラム

Visit & Study Japan Grant Program (VSJ)

米国の大学院で日本研究を行っている米国人学生の短期日本研究訪問の助成金プログラム。
【協賛】ANA 【後援】外務省

奨学生5名が日本に関する研究成果を事務局で発表しました。それぞれの研究内容を丁寧に掘り下げ、米国人研究者のフィルターを通して改めて日本文化や歴史などを学ぶことができました。

「在日米軍基地内外で行われる日米の文化交流について」

Mr. Carl Gabrielson
University of California, Santa Barbara

「歌川広重『狂歌入東海道』(佐野喜版)における狂歌と浮世絵の関係性を探る」

Ms. Leah Justin-Jinich
Harvard University

「笑顔の父親を育てる：日本の非営利団体における男らしさの構築」

Mr. Evan Koike
University of British Columbia

「カンボジアで活動するNGOの連携体制からみる米・日・韓比較」

Ms. Mary Collier Wilks
University of Virginia

「帝国と国民国家との狭間にて：華南と東南アジアにおける台湾籍民と日本帝国南進論の展開」

Mr. James Gerien-Chen
University of California, Berkeley

アメリカボウル大会 America Bowl

高校生を対象にしたクイズ大会。アメリカの歴史・文化・芸術・地理・政治等についての知識を英語での質問やゲームを通して競い合う。入賞校にはワシントンD.C.への短期訪問が授与される。
【協賛】ANA 上智大学 【助成】米日財団
【後援】外務省・アメリカ大使館・全英連・JASWDC・日本国際教育協会
【装飾】ホテルニューオータニ



前年より更に工夫を凝らし、準決勝を設けました。往年のクイズ番組を彷彿させる早押し問題は決勝戦の花形であり、応援している観客もハラハラの展開でした。名誉総裁の高円宮妃殿下にご来臨いただき、入賞者にメダルを授与していただきました。

第2回アメリカボウル大会結果

- 第1位 慶應義塾高等学校 (川口 卓朗・高野 俊・町 素直)
- 第2位 開成高等学校 (辻 翔太・西森 駿介)
- 第3位 開智未来高等学校 (尾本 達哉・高澤 美優・山野井 咲耶)

優勝者インタビュー



昨年のアメリカボウル大会で優勝した慶應義塾大学1年の高野 俊さんが、学生インターンとして加わりました。大会での思い出や大学生活の抱負についてインタビューをしました。

<インタビュー記事より抜粋>

「アメリカボウルはクイズ専門の大会ではないので、知識だけではなく、英語力や実践力も問われたのが印象的でした。今でも、決勝戦で、チームメイトが、他校の生徒が誰一人答えられなかった難問に正解した光景を覚えています。優勝した結果、アメリカ本土に初めて行くことができたのですが、現地に行って初めて知ったことや価値観が変わるような貴重な出会いがたくさんありました。挑戦して本当に良かったと思っています。これからはAJSのインターン生としてアメリカボウル大会の運営やプログラムの企画に関わっていきたいです。また、将来医師になりたいと思っているので、様々な経験と両立しながら学業も頑張りたいと思います。」

Web記事で全文が読めます。

URL : <https://bit.ly/3f8mv0R> または QRコードへ



クイズに挑戦! (左上の写真より)

Q. 毎年2月の第3月曜日は「大統領の日」です。この祝日は2月生まれの二人の大統領の誕生日を祝うものです。ひとはジョージ・ワシントンですが、もう一人は誰でしょうか? 答えは最終頁へ。

事務局より

第85回総会について

今年度はコロナ禍のため、以下日程で調整しております。詳細については追ってご連絡いたしますのでご確認ください。
日程：2020年9月17日（木）国際文化会館にて開催予定。

会員紹介について

2019年度から推薦人のいる入会希望者にも面談による審査を行うこととなりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、現在は対面式面談を行うことができません。よって当面は推薦書類審査で対応させていただきます。状況に応じて方法を変更する場合がございますのでご了承ください。

連絡先情報の変更の際には

住所や電話番号等、登録内容に変更が生じた場合は事務局までご一報ください。メールアドレスや住所の変更について事務局へ届けがなくお知らせが届いていないというケースがございます。イベントのご案内や重要なお知らせを確実に受け取りいただくためにも、お届けはお早めをお願いいたします。

登録情報チェックリスト

- メールアドレス 電話番号 FAX番号 ご自宅住所
 勤め先・役職 勤め先住所 勤め先連絡先



新スタッフの紹介

新スタッフの茂木麻希（もてぎまき）さんを紹介いたします。茂木さんは今年の3月に東京学芸大学を卒業し、4月から日米協会のスタッフに入職しました。大学1年生の時から協会のインターン生として活躍しており、多くのプログラムに参加してきました。

茂木さんより

日米協会で働けることを誇りに思います。インターン生時代の経験や、英語、IT、デザインなど得意なことを活かして、新しいことにも積極的に挑戦していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

～編集後記～

新型コロナウイルス感染症拡大回避のためイベントの中止・延期が相次ぎ、集会を行うことができずにいる中、会員の皆様に日米協会の活動をお届けすべく特別号としてNewsletterを発行するに至りました。この事態が一日も早く終息し、活発に協会の活動ができることを祈りつつ、また皆様と直接お会いできますことスタッフ一同心待ちにしております。

AJS eNewsletter



特別号 Special Issue

2020年6月30日発行

デジタル版

●監修

専務理事 岡本 和夫

●編集・執筆・デザイン

オフィスマネージャー 吉田 薫
スタッフ 茂木 麻希

●記事作成

インターン 岡田 悠也
インターン 高野 俊

●校正

インターン 山本 菜々
インターン 猪又 望海
インターン 小林 真緒子

ご感想、ご意見等は以下までお願いします。

一般社団法人 日米協会

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目11-28
M-City 赤坂一丁目ビル8階

TEL：03(5388)6344 FAX：03(5388)6355

E-mail：info@ajstokyo.org

Website：http://ajstokyo.org/

Facebook：https://www.facebook.com/ajstokyo/

Twitter：https://twitter.com/ajs_tokyo

